

# 組NEWS合

Faculty and Staff Union of Kanazawa University

発行：金沢大学教職員組合執行委員会  
住所：金沢市角間町 角間内線2105  
直通電話(076)262-6009 (FAX同じ)  
E-mail kanazawa@ku-union.org  
ホームページ http://www.ku-union.org

2008年12月9日

通巻1094号

## この号の内容

第65回大会2008年度方針を決定	1P
第19回全国医大懇参加報告	3P
活動日誌 11月	4P
お知らせ 新年会・全労済	4P

## 第65回定期大会2008年度方針を決定

11月15日(土)に角間南キャンパス自然科学5号館(旧理学部棟)2階大講義室において定期大会が開催され、2007年度活動 総括、2008年度活動方針について熱心な討議の上、全会一致で執行部原案が採択されました。

11月15日(土)定刻の13時に、市原副委員長の開会宣言により大会の幕が開け、最初に、工学部分会の平野代議員と北支部の梅田代議員が議長に選出されました。引き続き、大会運営委員の資格審査員、大会書記および議事録署名人、各2名を選出した後に、議長から大会議事進行予定の確認が行われ、資格審査員から、大会参加代議員数20名、委任状19枚(合計39名)により大会が成立していることが確認されました。

議事進行に先立ち、2008年度の執行部を代表して直江執行委員長から挨拶があり、今年の4月から新しく3学域体制がスタートし、厳しい大学財政のもとで教職員の多忙化がますます進んでいることを踏まえ、組合として教職員が気持ちよく働くことができる環境の整備や待遇改善に向けて尽力していきたいとの意欲を述べられました。

つづいて、来賓として出席された2名から次の挨拶を受けました。

〇つくしんぼ保育園・金田園長

42年前に認可保育所としてスタートしたつくしんぼ保育園は、大学の福利厚生施設として大学とともに歩んできましたが、これまでに皆様から多大なご協力をいただき深く感謝を申し上げます。来年には、旧薬草園跡に新園舎がいよいよ着工することになりました。また、9月からは附属病院からの業務委託として病児保育「たんぼほルーム」が開設されました。保育園の財政が厳しい中でも、要求される保育サービスはますます多様化しており、今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

〇石川県医療労働組合連合・馬渡書記長

大会議案書において、病院の7対1看護問題を



最初に取り上げていただきありがとうございます。国立循環器病院の過労死問題について労災認定が確定しましたが、10月には新たに済生会病院において過密労働問題が起きています。国民に「安全・安心の医療」を提供できるようにするために、長時間勤務とならざるを得ない二交替勤務制の導入を許さず、働く者の健康を守っていくための運動を行っていききたい。

次いで、全大教、北陸大学教職員組合、金沢大学生協、労働金庫、全労済からの祝電・メッセージが紹介され、この内、北陸大学組合からのメッセージの一部が読み上げられました。

### 2007年度活動総括と決算に関する討議

旧執行部の武居書記長から、議案書にしたがって昨年度の活動の経過報告と総括がありました。次に、澤田前会計担当委員から、昨年度の決算案についての説明と、山上監査委員からの監査報告があり、これらについて質疑が行われました。

理学部分会代議員より「外国人教員の任期問題は、採用時に任期が付いているのではないか。」との質問があり、旧執行部から「採用は任期付きである。外国人教員の任期は、その教員の実

情に合わせて柔軟に考えるもので、今後も継続的に検討していく必要がある。」との説明がありました。

四分會代議員より「法人化後、病院長懇談会を要望しているが、病院長が出席したことはない。今年、本会の協力を得て、病院の課長・副看護部長を交えた交渉が実現できた。」との報告がありました。

工学部分會代議員より「南支部の設立については理学部と工学部で継続的に協議しており、理工学域長交渉では両分會合同で行った。理工学域長交渉では、部局長では判断できない、との回答が多く、今後は本会と協力して学長交渉に臨む必要がある。」との意見が述べられました。

本部分會代議員より「法人化後の非常勤職員の待遇は改善されているが、業務が複雑化しており、高度な仕事と補佐的な仕事に2分化されている。これに伴ってパート職員や非常勤職員が格差を感じており、今後さらなる格差の拡大が懸念される。」との発言がありました。

旧執行委員より「非常勤職員の常勤への登用試験について、名古屋大学の試験形態を例に挙げて、長期に働く非常勤職員が救われる登用試験の実施を要求してはどうか。」との提案がありました。

以上のような議論を踏まえ、議長進行の下で2007年度の活動総括案と決算案の採決が行われ、満場一致で採択されました。

## 2008年度活動方針と予算に関する討議

休憩を挟み、まず、直江執行委員長から、今年度の執行委員全員の紹介が行われました。その後、大谷書記長から、今年度の活動方針について、労働条件の改善、組合員の拡大、病院・附属学校問題、広報活動、レクリエーション、教研活動など要約して説明があり、引き続いて、山本会計担当委員から、議案書に基づいて予算案が提案され、これらについて質疑が行われました。

四分會代議員より「薬物問題への対策や喫煙問題にも取り組んで欲しい。また、パート職員の常勤化を進めて欲しい。そして、組合員拡大に向けて、チェックオフ体制の早期導入を進めて欲しい。」との要望が出されました。これに対して執行部から「薬物問題対策は当局に申し入れ、喫煙問題は非喫煙者と喫煙者に対する問題に分けて検討したい。また、恒常的な業務を行っ

ているパート職員の常勤化を要求していく。」ことが回答され、旧執行部からは「チェックオフについては事務職員の負担増と現行給与システムでの取り扱いに問題点があり、今年度予定されているシステム更新に併せて改善を求めていく必要がある。」との意見が述べられました。

北支部オブザーバーから「独身者支援の企画を進めるため、組合も協力して欲しい。」との要請がありました。

理学部分會オブザーバーより「角間地区にも病児保育所の設置が必要である。また、女性研究者育成支援モデルプログラムの活動を明らかにするとともに、本プログラムの専任教員による学習会を開いて欲しい。」との要望があり、執行部より「組合として現状の把握に努め、適宜、学習会の開催を検討していく。」との回答がなされました。

旧執行委員より「教育研究予算に5%シーリングをかけないこと、学長裁量経費を肥大化させないことを当局に要求して欲しい。」との要望があり、執行部から「実情調査を行った上で検討を進めたい。」との回答がありました。

以上のような議論を踏まえ、議長進行の下で2008年度の活動方針案と予算案の採決が行われ、満場一致で採択されました。

## 金沢大学教職員組合規約の一部改定

大谷書記長から、賛助組合員と特別執行委員を新たに設けるための組合規約の一部改定について趣旨説明があり、次の質疑が行われました。北支部オブザーバーより「賛助組合員の会費設定の根拠は何か。」との質問に対して、旧執行部から「会費は組合発行物の郵送費に基づいている。」との説明がされました。

質疑の後、議長進行の下で組合規約の一部改定案の採決が行われ、満場一致で採択されました。

規約改定案の採択を受けて、直江委員長から、今年度の特別執行委員として、名古屋氏、武居氏、村井氏の3名を推薦したいとの提案があり、満場一致で承認されました。



予定されていた全ての議事を終え、平野、梅田の両議長は退任し、最後に、汲田書記次長より、大会運営へのご協力に対する謝辞が述べられ、「今日の討論を踏まえ、活動方針の実現に向けて努力していきたい。」との閉会挨拶があり、16時に定期大会は終了しました。



# 第19回全国医科系大学教職員懇談会（医大懇）に参加して

全体集会で現在問題となっているトピックスを提起し、その後各分科会に分かれてその問題について討論しました。提起内容としては、現在の国立大学病院の置かれている非常に厳しい状況についてです。具体的には、法人化後4年経った現在の病院運営費交付金は法人化前の約半分まで縮小されました。また、財投借入金償還金の内707億円が病院収入から償還されています。これらの影響により28国立大学病院が赤字となっています。この医療費削減により国立大学病院の使命が失われつつあり、「医療の質及び安全性の低下」、「非採算的な高度診療機能の低下」、「医療系講座の研究機能の低下」などが危惧されています。我々の普段働いている現場においても同様に深刻な影響が起きています。例えば、「人件費の削減」による「超勤費不払いの長時間労働」や「有休の取得困難」などが各部署で平然と行われています。また金銭的な問題のほか、法人化したにもかかわらず公務員的な思考が依然として残っており、「年功序列的な考え方」それに伴う「各種ハラスメント」の問題も合わせて重要な問題として取り上げられていました。

私は、第2分科会の「法人制度下における労働関係」に参加しました。まず、各大学から問題点があげられました。内容は「看護師の2交代制度導入」、「不払いの超過勤務費」、「期限付き職員採用」、「年休の取得困難」などが提起されました。看護師の2交代制度に関しては、若いスタッフには休みがしっかり取れるので好評であったが、年配のスタッフや管理職に準じるスタッフには体力的・精神的負担が3交代の時よりも増したと不満が聞かれました。諸外国と比べ圧倒的に看護職員の不足がみられるので、2交代を3交代に替えたとしても一時的な効果にしかならず、やはり看護職員の人数増員が急務であることが示唆されました。「期限付き職員採用」に関しては、現場では「せっかく戦力になるように育てても期限がくると他の病院へ



移動してしまい、また新しい職員を指導しなければならない」という声が多く上がっており非効率的な採用形態であることが問題視されました。採用されている職員側も精神的に不安を抱えながら働いており、雇用側、労働者側ともに不利益な制度であると思われる。法人化後は、人事採用権が各大学に委ねられており正規職員の増員も急がなければならない課題の1つであると考えさせられました。「不払いの超過勤務」、「年休の取得困難」に関しては、上記2点が改善されれば自然に軽減されるように思いました。



講演では、東京大学の伊藤正直先生の「国民医療の今後と国立大学病院のあり方」を聴講しました。非常にボリュームのある内容でしたが、大きく2つの点を問題点として述べられていました。一つ目は、「財政問題」についてです。国の財政改革において社会保険費の占める割合が最も多く医療運営費削減が提案されています。現在、この問題に対して非正規労働者で赤字を埋めているが、短期的には財政回復しても長期では人材育成を放棄しているのが非常に問題であると思われました。二つ目は、「国立大学法人化問題」についてです。法人化後の運営給付金は、努力と成果について支払うと定められていますが、非常にあいまいな定義に感じられました。実際、この評価基準でいくと半数以上の大学の運営給付金が減額となります。また、あまりにも漠然としているので次の基準として中期目標達成率が提起されましたが、この基準も具体的な数字などがなく平等に評価ができるのかが疑問に感じられました。

今回の全大教第19回医科系大学教職員懇談会では、非常に多くの有益な情報が得られ、各国立大学の抱えている問題点もよくわかりました。これらの問題点を解決していくために、各職員が問題意識をもって日々の業務に従事し、改善策を模索して労働組合に上げていくことが大切だと感じました。(A)



# 金沢大学教職員組合

## 新年会

日時  
会場

2009年1月23日(金)午後7時～  
KKRホテル金沢

会費は2000円です。

- ◎ 楽しいゲームなど企画も盛りだくさん計画中
- ◎ 2009年3月末退職者の集い(該当の方はご招待)
- ◎ 詳細は次回ニュースにてお知らせいたします



### 活動日誌

11月



- 1・2日 全大教労働セミナー
- 6日 第4回執行委員会
- 7日 女性部役員会
- 9日 四分会バーベキュー
- 10日 将来検討委員会
- 13日 女性部「学長を囲んで食卓会」
- 15日 第65回定期大会
- 15・16日 全大教医大懇 in 阪大
- 17日 将来検討委員会
- 20日 第5回執行委員会
- 27日 女性部学習会

「セクシャルハラスメントリテオ学習会」

### お知らせ

#### 全労済カレンダー発行中止

永年使用されてきた「年齢早見表付三角カレンダー」が今年度より廃止されました。長い間の「愛顧」ありがとうございました。今後とも変わります。全労済の各種共済ご利用をお願いいたします。

き り と り せ ん

### 金沢大学教職員組合 加入申込書

ふりがな 氏名 \_\_\_\_\_ 申込日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
 (男・女) 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
 部局名 \_\_\_\_\_ 職場 \_\_\_\_\_ 内線 \_\_\_\_\_  
 職種 \_\_\_\_\_  
 連絡先 電話 \_\_\_\_\_  
 E-mail \_\_\_\_\_ (職場・個人用)

記載された個人情報、組合が適切に管理し、組合員名簿に記載する他、組合からの各種ご案内に利用させていただきます